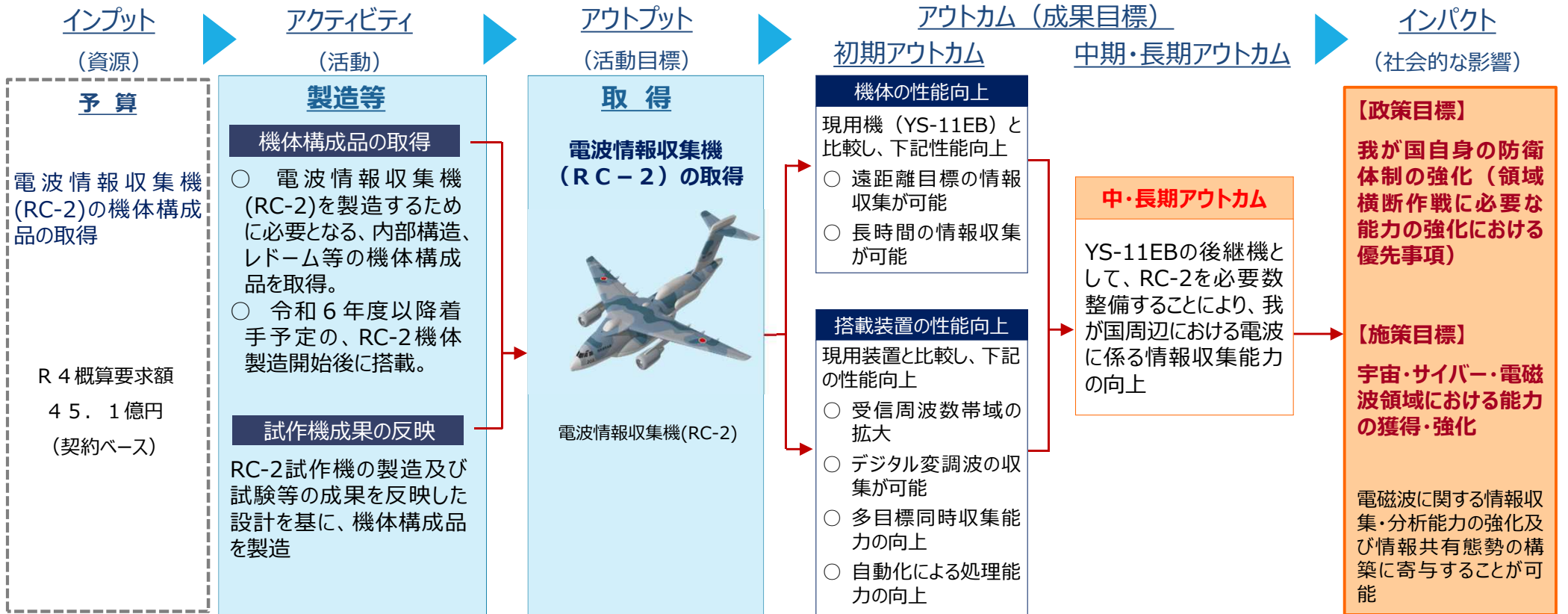


電波情報収集機（RC-2）の取得

本事業は、我が国周辺における電波情報収集能力を向上させるため、現用の電波情報収集機（YS-11EB）の後継として、開発が完了した電波情報収集機（RC-2）を取得するものである。

現状・課題

宇宙・サイバー・電磁波といった新たな領域の利用が急速に拡大していることから、電磁波領域における優位性を獲得することが死活的に重要となっている。一方、近年の技術革新により使用される電波の広帯域、低電力、送信時間短縮化による低被探知化及び輻輳化が進展したことにより、現有システムによる電波に関する情報収集が困難となりつつある。



<整備計画案>

年度	令和 3 年	4	5	6	7	8
整備内容						
			機上電波測定装置の取得			
			機体構成品の取得			
				機体の取得 (令和 6 年度以降)		

総合評価

本事業は、平成 29 年度から試作機による飛行試験を含む搭載機器の試験評価を開始し、令和元年度末に開発が終了したため、量産機を取得するものであり、我が国の抑止力及び対処能力向上に資することから、国民や社会ニーズを的確に反映しており必要な事業である。

以上の点から、本事業は政策体系上の位置付けと一致し、かつ、必要性・効率性・有効性の観点からも妥当と評価できることから、令和 3 年度からの着手が適当であると判断する。